



開館50周年。新たな思い出は、また、この森から。



**2019年8月1日、彫刻の森美術館は開館50周年を迎えました。**

彫刻の森美術館（神奈川県箱根町、館長：森英恵）は、2019年8月1日（木）に開館50周年を迎えました。

日本を代表する観光地と言える箱根に新しい彫刻芸術の灯がともったのは、1969年8月1日でした。箱根の自然と近・現代の彫刻とが調和し、ほかにはないユニークで潤いのある空間をつくり出す一方、誰もが気軽に芸術鑑賞の機会がもてる場所…。それまでの常識を破った彫刻の森美術館は、日本初の野外美術館として内外から大きな話題を集めました。

そして、50年の歴史を経た現在。年間約60万人の人々が訪れ、心豊かな憩いのある場となっています。これからもアートを通じて、常に驚きや楽しみを多くの皆様に提供していきたいと考えています。当館の活動にご注目ください。

## ピカソ館内覧会、ならびに開館 50 周年記念式典

一般公開に先立ち 2019 年 7 月 26 日、内覧会と記念式典が同美術館で行われ、関係者ら約 200 人の方々に半世紀の節目をお祝いいただきました。

式典では、彫刻の森芸術文化財団の日枝久理事長が「自然あふれる箱根を舞台に大勢の人に見てもらえることは意義を感じる。これからも彫刻だけでなく優れた作品の収集や紹介に努めたい」と挨拶。ホルヘ・トレド駐日スペイン大使は「箱根の自然の中でピカソ作品と世界的な芸術を楽しめる素晴らしい空間。ピカソが蘇ったらきっと、散策したいと思うでしょう」。山口昇士町長は「彫刻美術・芸術と庶民との距離を縮めるとともに、箱根がワンランク上の観光地という質の向上に貢献してくれた」と祝辞を述べていただきました。また、オペラ歌手の岡本知高さんによるミニコンサートも行われ、半世紀の節目を祝う式典に花を添えていただきました。

### ピカソ館リニューアル テープカットの様子



左から、箱根町町長 山口昇士、フジテレビジョン代表取締役会長兼 CEO 宮内正喜、彫刻の森美術館館長 森英恵、駐日スペイン大使 ホルヘ・トレド、公益財団法人彫刻の森芸術文化財団理事長 日枝久、造形家 東京藝術大学名誉教授 伊藤隆道（敬称略）



主任学芸員による解説



パブリックコメント

## ピカソ館スペシャルコンサート

リニューアルオープンを記念して、7月27日にはピカソ館リニューアルオープンに合わせて、ソプラニスタ（男性ソプラノ歌手）の岡本知高（おかもと ともたか）さんによるミニコンサートを行いました。世界的にも大変希有な天性の歌声がピカソ館に響きました。



## ピカソ クロストーク

開館50周年となる8月1日には、ピカソ館でパブロ・ピカソ研究の第一人者である高階秀爾氏と、ピカソに影響を受けて画家宣言をし創作活動続ける横尾忠則氏によるクロストークを行いました。ピカソが過去の巨匠や大家の作品からインスピレーションを受けて、数多くの剽窃作品を生み出した背景や制作過程などにせまりました。

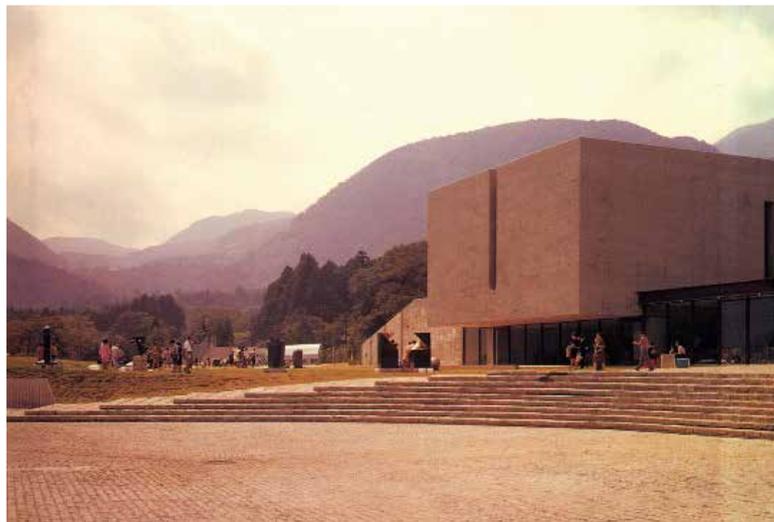


## ガチャピン・ムック1日館長

8月1日には、「ポンキッキ」シリーズの人気キャラクター、ガチャピンとムックが1日館長として来館者とふれあいました。



## 開館 50 周年の主な出来事、展覧会、企画展など



1969年 円形広場

### 1968年

- 1月4日 彫刻の森美術館創設の構想を日本経済新聞に発表
- 7月26日 彫刻の森美術館起工式
- 9月8日 財団法人彫刻の森美術館設立

### 1969年

- 8月1日 **彫刻の森美術館 開館**  
「第1回現代国際彫刻展」(大賞:堀内正和《立方体の二等分》  
アリスティド・マイヨール《とらわれのアクション》) 展示
- 12月26日

### 1970年

- 6月1日 「バーバラ・ヘップワース展」
- 6月26日 エミール=アントワヌ・ブールデル《自由-大》《勝利-大》《カー-大》《雄弁-大》 展示

### 1971年

- 5月18日 オーギュスト・ロダン《バルザック》 展示
- 6月8日 ヘンリー・ムーア《横たわる像:アーチ状の足》 展示
- 7月1日 「第2回現代国際彫刻展」(大賞:奥田善己《個とグループ》、横山善一《過去・現在・未来》)
- 11月1日 「現代彫刻詩集」 刊行

### 1972年

- 3月15日 箱根登山鉄道、二ノ平駅が彫刻の森駅と改称
- 5月27日 「現代イタリア彫刻の全貌展」
- 7月30日 東京、丸の内仲通りに彫刻展示(以降毎年展示替え)
- 12月1日 アレクサンダー・カルダー《赤いペナント-吊るモビール》 展示

### 1973年

- 6月3日 「第1回彫刻の森美術館大賞展」(大賞:山本衛士《山景》)
- 9月2日 コンスタンティン・ブランクーシ《接吻》 展示

### 1974年 開館5周年

- 6月29日 緑陰広場、グレコ・ガーデン、マンズー・ルーム、アート・ホール完成

### 1975年

- 5月31日 カブリエル・ロアール《幸せをよぶシンフォニー彫刻》 完成
- 6月1日 「第2回彫刻の森美術館大賞展」(大賞:伊藤隆道《まわる曲線のリング》、  
篠田守男《テンションとコンプレッション-4304》)
- 8月1日 カール・ミレス《神の手》 展示
- 10月4日 三木富雄《耳 1, 2, 3》 展示
- 12月3日 ジャン・デュビュッフェ《使者たち》 展示

## 1976年

- 3月13日 「ギリシヤ現代美術展」
- 5月 岡本太郎《樹人》展示
- 6月6日 「頭像展」
- 10月24日 ジョージ・リッキー《2本の垂直線 箱根》展示

## 1977年

- 6月5日 「第3回彫刻の森美術館大賞展」(大賞:清水九兵衛《Affinityの継続》)
- 8月24日 ウンベルト・ボッチオーニ《空間の中の一つの連続する形》展示
- 11月9日 皇太子妃美智子殿下(当時)、紀宮内親王(同)来館

## 1978年

- 6月9日 カール・ミレス《人とペガサス》展示
- 7月8日 メダルド・ロツソ《門番の女》《貧しい食事をしている子供》展示
- 11月19日 後藤良二《交叉する空間構造》展示

## 1979年 開館10周年

- 4月29日 ピーター・ピアース《カーヴド・スペース》;しゃぼん玉のお城(第1作)完成
- 5月19日 ナウム・ガボ《球型のテーマ》展示
- 6月23日 ジョアン・ミロ《人物》展示
- 6月30日 「巨匠画家の彫刻展」
- 7月3日 昭和天皇行幸
- 8月1日 「第1回ヘンリー・ムーア大賞展」(大賞:多田美波《極》)
- 8月25日 「現代彫刻 写真/土門拳、詩/日本の詩人たち」刊行

## 1980年

- 8月2日 「第1回高村光太郎大賞展」(大賞:レグ・バトラー《身をかかめる娘》)
- 10月18日 「サンチャゴ・デ・サンチャゴ展」

## 1981年

- 6月6日 美ヶ原高原美術館開館
- 7月4日 「第2回ヘンリー・ムーア大賞展」(大賞:アルナルド・ポモドーロ《球体をもった球体》)

## 1982年

- 4月13日 高村光太郎《みちのく》展示
- 7月3日 「第2回高村光太郎大賞展」(大賞:外岡秀樹《望郷》)

## 1983年

- 7月30日 「第3回ヘンリー・ムーア大賞展」(大賞:アレクサンダー・リーバーマン《イヴ》以後、美ヶ原高原美術館で開催)

## 1984年 開館15周年

- 7月7日 ピカソ館開館
- 新館エントランス竣工
- 9月1日 「第3回高村光太郎大賞展」(大賞:フランシスコ・スニガ《海辺の人々》/以後、美ヶ原高原美術館で開催)

## 1985年

- 9月1日 「第4回ヘンリー・ムーア大賞展」(大賞:該当作品なし)

## 1986年

- 4月23日 ネットのお城、美ヶ原高原美術館より移設
- 7月12日 「フランチェスコ・メッシーナ彫刻展」
- 7月25日 「第1回ロダン大賞展」(高村光太郎大賞展を改称 大賞:中垣克久《山上のソロ》)

## 1987年

- 5月16日 ヘンリー・ムーア・コレクション公開
- 7月24日 「第5回ヘンリー・ムーア大賞展」(大賞:ヘスス・マヤゴイティア《垂直な空間》)

## 1988年

- 3月12日 「TAKUBO -窪恭治展」
- 7月22日 「第2回ロダン大賞展」(大賞:セザール《親指》)
- 12月15日 「IN THE MOUNTAINS OF JAPAN」刊行

## 1989年 開館20周年

- 3月25日 特別収蔵《ピカソ、幻の版画シリーズー花嫁衣装のジャクリーヌ》公開
- 7月22日 夜間開館「夜のアートファンタジー」実施（2001年まで）
- 8月4日 「第6回ヘンリー・ムーア大賞展」（大賞：フェルナンド・ゴンサレス・ゴルタサル《解体された柱》）
- 8月5日 開館20周年記念式典
- 10月20日 ロナルド・レーガン元米大統領夫妻来館

## 1990年

- 7月20日 「第3回ロダン大賞展」（大賞：フィティス〈両性をそなえたトルソ〉）
- 10月18日 「マストロヤンニ彫刻展」

## 1991年

- 3月1日 「知られざる巨匠 メダルド・ロッセ展」
- 3月16日 「フォティス彫刻展」
- 4月19日 「ジム・ダイン展」
- 7月19日 「第7回ヘンリー・ムーア大賞展」（大賞：マルゴット・ザンストラ《幻の宮殿》）
- 8月3日 「チャドウィックの彫刻展」

## 1992年

- 7月17日 「第4回ロダン大賞展」（大賞イガエル・トゥマルキン《仕事は自由をもたらすか？ーミイラとしてのアーティストの肖像ー》）
- 8月1日 「日本の具象彫刻展」

## 1993年

- 1月13日 「英国の詩情 ベン・ニコルソン展」
- 4月10日 「デイヴィッド・マック マガジンインスタレーション：現実と現実のはざままで」
- 7月16日 「第1回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展」（大賞：メルヴィン・エドワーズ《アサフォ・クラ・ノ》）

## 1994年 開館25周年

- 1月15日 「アルナルド・ボモドーロ展」
- 4月9日 「イガエル・トゥマルキン展」
- 4月29日 しゃぼん玉のお城（第2作）完成
- 7月22日 「井上武吉展ー may sky hole 94 森」
- 8月1日 「彫刻の森美術館 1969-1994」刊行

## 1995年

- 4月1日 「不思議な木彫の人間たち マリソール展」
- 6月17日 「ヴィーゲラン展 生と愛と死と」
- 7月21日 「第2回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展」（大賞：吉本義人《連態 95-1》）
- 7月22日 「映し出された時間 伊藤隆道展」
- 8月5日 「朱銘展」

## 1996年

- 4月20日 「現代日本の陶彫作家展」

## 1997年

- 5月17日 「マリノ・マリーニ展」
- 8月2日 「楊英風展」

## 1998年

- 4月11日 「アンゼルム・キーファー展」
- 7月26日 「藤井フミヤ CG アート展」
- 8月9日 「明和電機展 '98」

## 1999年 開館30周年

- 7月24日 「藤浩志 ビニール・プラスチック・コレクション」
- 7月29日 新宮晋《生命の響き》展示
- 8月1日 「森に生きるかたち」
- 「彫刻の森美術館 美ヶ原高原美術館 1969-1999」刊行

## 2000年

- 3月24日 「トキワ荘の青春から天才バカボンへー赤塚不二夫展 これでもいいのだ！」
- 9月22日 「巨匠画家の陶芸展ーピカソ、シャガール、ミロからコクトーまでー」

## 2001年

- 3月17日 「ヴァンジ彫刻展 ー人間像の復権ー」
- 3月30日 「放浪画家 山下清の世界展」(前期展、後期展)
- 7月10日 「手塚治虫の世界展」

## 2002年

- 3月16日 「石川ヨシ子『華』展」
- 5月25日 「蔡国強の茶室 ー岡倉天心へのオマージュ」
- 7月18日 「とっとこハム太郎美術館」
- 9月10日 「ダイヤモンドコレクション展」

## 2003年

- 3月20日 「没後30年 ピカソ再発見の旅」

## 2004年 開館35周年

- 3月20日 「ヘンリー・ムーア：自然の気配 人のかたち」
- 4月24日 「ミッフィーのたのしいびじゅつかん」
- 9月26日 ジュリアーノ・ヴァンジ《偉大なる物語》《追憶》展示
- 11月6日 「アッバス・キアロスタミ写真展」  
温泉足湯オープン

## 2006年

- 7月1日 「色と形と椅子」展
- 11月3日 「ピーター・ブリザード：聖なる大地2006」
- 12月10日 「チェッコ・ボナノッテ展」

## 2007年

- 4月21日 「Art Loopーあそび-たいけん-こうさく-てんじ-おえかきー」
- 5月23日 フェルナン・レジェ《歩く花》展示
- 12月8日 「浮世絵とてぬぐいで見る五十三次」

## 2008年

- 3月24日 「アーツJクラフツ展2008」(2011年まで毎年開催)
- 4月5日 「ぐりとぐらー森の中の絵本たちー 福音館書店『こどものとも』絵本の世界展」
- 6月21日 「あそびのもりーポネルンドあそびのせかいー」
- 9月6日 「カメオ展 宝石彫刻の2000年 アレキサンダー大王からナポレオン3世まで」
- 11月1日 「ベルナール・カトラン回顧展」

## 2009年 開館40周年

- 4月25日 「彫刻の森の40年 1969-2009」
- 5月2日 ネットの森完成
- 5月16日 「山本正道展 ー風・記憶・かたちー」
- 10月3日 「多田美波展 ー光を集める人ー」
- 12月12日 「森のPlanet ー惑星からのおくりものー」

## 2010年

- 4月10日 「ぜんまいざむらい からくり・ひらめきワールド」
- 5月3日 累計入館者3千万人達成セレモニー実施
- 7月2日 「キッズワンダーランド『ミッフィーはどこ?』」
- 9月18日 「加藤泉展 日々に問う」
- 12月11日 「第4回現代日本彫刻作家展」(2011年も開催)

## 2011年

- 2月11日 「ハービー・山口 ー軌跡1970~2010ー」
- 4月29日 「ぞろぞろコロン ちょうこくとなかよし」
- 7月30日 「山本基 しるきもりへ ー現世の杜・常世の杜ー」
- 8月6日 しゃぼん玉のお城(第3作)完成
- 12月30日 「澁谷征司写真展 LETTERS:瞬きと旋律」

## 2012年

- 1月1日 彫刻の森美術館写真集「森と」刊行
- 4月1日 公益財団法人彫刻の森芸術文化財団へ認定、移行
- 4月8日 「大巻伸嗣 存在の照明」
- 10月21日 「鈴木久雄 木と距離 -彫刻の領域3-」
- 12月22日 「井浦新 空は暁、黄昏れ展」

## 2013年

- 3月23日 「宇治野宗輝 ポップ/ライフ」
- 7月27日 「洪易 - Hung Yi - Happy Animal Party」
- 12月14日 「市橋織江展 2001-2013」

## 2014年 開館45周年

- 3月22日 「ミーツ・アート 森の玉手箱」
- 7月10日 「森とアートの45年 箱根 彫刻の森美術館へようこそ。」刊行(株式会社榎出版)
- 9月19日 「保井智貴 佇む空気/ silence」
- 12月20日 「じぐザグさんかくワーるド」

## 2015年

- 3月21日 「松本秋則 オトノフウケイ」  
緑陰ギャラリーリニューアル、The Hakone Open-Air Museum Café オープン
- 7月18日 「鋤田正義写真展・フラッシュバック」
- 8月1日 「Welcome to The Hakone Open-Air Museum」刊行(株式会社榎出版)
- 9月19日 「浅井裕介 -絵の種 土の旅-」
- 11月21日 「笹口悦民写真展 無言の恍惚」

## 2016年

- 3月19日 「横尾忠則 迷画感応術」
- 4月29日 参加体験型企画「彫刻の森研究所」開始
- 9月17日 「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」

## 2017年

- 8月5日 「鈴木康広 始まりの庭」
- 12月1日 「箱根ナイトミュージアム」

## 2018年

- 4月14日 「ちょうこくの森アートライヴ 2018」
- 7月14日 「よりみち美術館 ～みんなで挑戦、ちょうこくクイズ～」
- 12月1日 「箱根ナイトミュージアム 2018」

## 2019年 開館50周年

- 7月26日 開館50周年記念式典  
(ピカソ館リニューアル内覧会、レセプション)
- 7月27日 ピカソ館一般公開  
「ちょうこくの森アートライヴ 2019」開始
- 8月1日 開館50周年
- 11月30日 「箱根ナイトミュージアム 2019」



リニューアルしたピカソ館  
(内観)

## 報道に関するお問い合わせ先

彫刻の森美術館 〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121 TEL:0460-82-1161 FAX:0460-82-1169  
広報担当：辻井 press@hakone-oam.or.jp